

Example Report

株式会社タマック

[横浜市:K邸]

風と戯れ、光と遊ぶ。
心も体も気持ちいい、
健康的なバリアフリー住宅



大きな広がる空に、黒のガルバニウムのボディがシャープなエッジを描くデザイン。シンプルな色だけに花々の彩りが映える。

Kさんご一家は、長年住んでいたお宅が再開発用地となってしまったことで、現在の地にお引越をされたのだという。「まさか立ち退きになるなんて思わなかったですから、急に家を建てることになって困惑してしまいました」と語るのは奥様。お隣で愛犬を撫でながら旦那様も「ハウスメーカーや工務店などいっぱいありますけどね、どこに頼めばいいのかすら勉強できていない状況でしたからね」と当時を振り返る。困ったご夫婦はご友人にアドバイスを求めたところ、タマックさんを教えてもらったのだという。

「お友達の息子さん家族が、やはり家を建てようと思って随分研究されていたようです。それで『タマックさんに行ってみたら?』と勧めてくださいました。実際をお願いしてみた感想を旦那様に伺うと、「実はタマックさんに伺う前、ハウスメーカーなど数社に足を運んだことがあるんです。私らは家を建てたいと構想を練ってきたわけではなく『とにかく住む場所を探さなければならぬ』という状況でしたから、注文住宅は最初から頭にはありませんでした。でもやはりどこも事務的というか、決め手にかける

思いがありました。しかしタマックさんのショールームに入った瞬間、緊張していた気持ちがふっと楽になるというか『不安をそのまま話せばいいのかな』という不思議な安堵感を覚えたんですよ」と熱心に語る。「そうそう、ショールームで子どもさんたちがきゃしゃと楽しそうに遊んでる姿を見て『なんてアットホームなんだろう』って。普通はもっとビジネス的に商談するもの shouldn't ですか? だから私たちが身構えるもの。タマックさんは全然違うんです。それがもうありがたかったですね」と奥様も笑顔を見せた。



左/和の庭は奥様のご希望。しかし和になりすぎず、都会的なフォルムの外観と見事に調和している。瓦を玉砂利に埋め込むアイデアが光る。

右/間口の広い玄関。車いすをご使用のお母様も安全に生活していただける設計がなされている。外観のシックな印象は室内にも踏襲された。





1階はお母様の住まい、2階はご夫婦が生活するスペース。キッチン、リビング・ダイニング、そして洗濯機を設置したパウダールームと、家事スペースがワンルームで完結できるこの空間に、奥様は大満足。家事負担から解放されたと話す。「家の中の仕事って細々してるでしょう?料理をしたり、洗濯したり。その動線を考えて設計していただいているので、本当に家事が楽しくなりました。設計士さんに家事を誘導してもらってるみたい(笑)」と嬉しそうに微笑む。ゆとりあるこの空間は一家の幸せなひとときを包むに十分なスペース。キッチンに立てば、それを一望できるという配置も、設計が暮らし方を誘導していることに他ならない。「やっぱりプロがつくる家は違いますね。デザインだけじゃなく、人の動きや機能が十分考えられていますから」と関心しきりだ。



フローリングに使用している素材は「竹」。洋でありながら和のテイストにこだわられた奥様の希望を見事に融合させモダンな雰囲気。竹の滑らかな素材が足に優しい。



老後も安全に安心して暮らせるよう、階段は幅1mの広さを確保。またぎは約19cmと足を高く上げなくても上り降りできる設計に。手すりも設置されている。

2階に設けた明るいLDK。アイランドキッチンが空間内に開放感を演出するほか、家事効率を高めている。また勾配を利用し、キッチンより天井高を上げたリビングは、質の高いくつろぎの時間をもたらしてくれる。



ダイニングテーブル付きのアイランドキッチン。まるでレストランのカウンター席のよう。調理の様子を目や耳で楽しんだり、家族で会話をしながら食事ができる。

開口部の上にはアッパーライトを設置。勾配を設け、開口部が一番高くなるよう設計されているので、明かり取りの要素が大きい。天井のシーリングファンがまわると陰影が幻想的な世界観をつくる。



左/造作のカウンターを設け、一見すると居室のよう。白と濃い茶のコントラストはトイレ内にも踏襲。落ち着いた明るい空間に仕上げた。

右/奥様が最もこだわった洗濯スペース。洗面室内を約3畳という広さを確保し、天井も高く設計。干し竿が吊れるよう予め補強を施した。



注文住宅で建てたいという方の多くは“こんな家になりたい”というイメージがあるはず。しかしKさんの場合、急遽家づくりをはじめなければならなかった事情もあり、最初に望んだのは「バリアフリー設計」と「洗濯スペースの充実」だけだったという。「住み慣れた前の家は、古い建物だったので洗濯スペースが狭く不便でした。それに収納も少ない。その思いがあったので、デザインより何よりもまず機能性を中心をお願いしたんです」と話すのは奥様。家事をする主婦にとって、料理、洗濯、掃除のしやすさは真っ先にこだわりたい部分。今の暮らしを何うと「暮らしやすさがまったく違います。設計士さんは男性なのに、主婦の気持ちがよくわかるわ〜なんて関心しちゃいます。それに風通しがとにかくいい。風の通り道を考えて開口部を設計してくださっているようですが、ご本人は照れて謙遜してますね(笑)」。奥様の笑顔からも、快適で満足した生活であることが感じ取れる。



当時の思い出話で盛り上がるKさんご夫婦とタマックの担当者。「友達同士のような感覚で気軽に相談できるところがいい」と話す奥様。一緒につくり上げたという絆が感じられる。

DATA

敷地面積 236.98㎡ (約71.68坪)
 延床面積 189.31㎡ (約57.27坪)
 1階面積 96.00㎡ (約29.04坪)
 2階面積 93.31㎡ (約28.23坪)

- ◎工法/2×4工法
- ◎基礎/ベタ基礎
- ◎屋根材/瓦葺
- ◎外装材/ガルバリウム
- ◎内装材/紙クロス ルナファーマーザ
- ◎床材/竹フローリング
- ◎開口部/トステムデュオPG
- ◎キッチン/トステムクレティア
- ◎バスルーム/INAXラ・バス
- ◎工期/約120日
- ◎竣工年月/2009年10月
- ◎家族構成/夫婦、母



子どもが元気いっぱい遊べる！
 明るいショールームが自慢です

「タマック友の会」が絆の証

ショールームに一步入った途端、子ども達の笑い声に出迎われ、ここが一瞬商談の場であることを忘れてしまう。キッズルームで受付の女性が一緒に遊んでいる光景に緊張がほぐれ、思わず微笑む。手が足りなければ課長や室長でも、お子さんを抱っこしてあやす。この優しい雰囲気こそがタマックのすべてだ。驚くのは、アットホームな対応に心打たれたあるお客様が「タマック友の会」を発足され、現在まで活動が続いているということ。お客様同士、横のつながりがある会社はそうそうないはず。壁に飾られたお客様の笑顔の写真こそが、タマックの魅力伝える動かない証明だ。遊びに行く感覚で、ぜひ一度足を運んでみてはいかが？



POINT

設計のポイント

「家づくりは思い出づくり」
 ——その思いが、お客様の心を開かせる

理想の家を描いてくれる会社はきっといくらでもあるはず。しかしタマックの考えは「家をつくる工程」も「住んでから」も、全部が家づくりだと考えているのだ。室長の鎌田さんはこう語る。「あるお客様に『タマックで家を建てたら幸せになれると思った』という言葉をいただいたんです。その言葉にぐっときてね。以来“お客様を幸せにしたい”という思いでやってきました。ショールームが子どもの笑い声でいっぱいなのも、家づくりが楽しい思い出になってほしいからなんです」。8年前からほぼ毎月発行している社報『暮らしすと』も、お客様とのコミュニケーションを大切にしたいという思いでスタート。家を建てたい初心者も安心して相談できる会社だと思おう。(取材:編集部)

株式会社タマック

〒214-0032 神奈川県川崎市多摩区枳形2-6-11
 tel 050-5511-3735 fax 044-930-1023
<http://www.tamac-inc.co.jp>